

マラウイ通信

渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院



【クワチヤ】マラウイではマラウイクワチヤという通貨が使われています。写真にある7種類の紙幣と3種類の硬貨があり1000クワチヤ約14円です。最高紙幣が2000クワチヤです。その中で、米ドルから換金すると財布には入りきれない量の紙幣の束になります。首都の大型スーパーでは大量の札束で買い物をするマラウイ人をよく見かけます。日本では日常的にはそんな大量の札束での買い物なんてする事はないので初めは違和感があります。一方、任地である郊外では2000クワチヤを見る事はほとんどありません。市場で買い物する際も高額紙幣はなかなか使う事が出来ないのです。お店の人がお釣りを持っていない。常に小額紙幣をキープしておかなければなりません。写真で見てもわかるように高額から小額になるにつれて紙幣が汚くなることも特徴です。マラウイ人は財布を所持せずにポケットや胸元（女性は）に保管します。しかも、綺麗に折るのではなく、くしゃくしゃに握りつぶすのでお札がとくも汚いモノばかりです。特に田舎に行くと、外部からの紙幣があまり入ってこないせい、外部からの紙幣があまり入ってこず、真つ黒に汚れていたり、しつとりしてあるお札、中にはセロテープで補強されているような紙幣もたまに目にします。普段任地ではぐちゃぐちゃなお金を使っているだけで、首都などで綺麗なお金を見るだけで、少し嬉しくなります。

☆チェワ語講座☆

英語では5W1Hが文章の先頭にきますよね。例えば、**where are you going?** でも、チェワ語では最後にきます。**ムクピータクティ?** ム→あなた、クピータ→行く、クティ→どこ。こういった感じです。英語とチェワ語の文法では大きく違うと思いますが、マラウイ人は上手に使い分けているので感心します。

【猿】どこにでもじゃありませんが猿も目にすることがあります。特に猿が多い地域では普通に道端や木に座っています。害を加える事は無さそうですが、襲われたら少し怖いですね。



W杯、マラウイでも非常に盛り上がっています。特に先日のセネガル戦はいつも以上に多くの人が集い勝敗の行方に夢中になっていました。サッカーを見たい気持ちと完全アウェーになるだろうという心配が格闘しましたが、いつも通り任地で見事にしました。ほぼ全員がセネガルを応援する中、村長とお店のオーナーが日本を応援してくれたので安心して試合を観戦することが出来ました。とは言っても、日本の得点場面は場の空気が凍りました。(苦笑)試合が終了すると「no winner no loser」と叫び喜びながらハイタッチしているのを見てマラウイらしいなと感じました。

【チップス】マラウイのローカル食材の一つチップス。チップスと聞くとスナック菓子のポテチを連想しますが、この国でチップスと言えば、ポテトフライの事です。ローカル市場、道端、レストラン、または高級レストラン。どんな所にも置いてあると言ってもいいほどチップスがあります。マラウイでは、主食としてシマが食べられています。このチップスは2番手に位置付けられていると言っても過言じゃないでしょう。レストランのメニューには《SHIMA or CHIPS》といった記載がされており、選択式になってます。一方、ローカルでのチップスの食べ方は大量の塩と唐辛子が一般的です。金属製の中央を窪ませてある道具を使って油で揚げられています。この油、、、きっと何日も交換されていません。色が変わります。いまいよく揚がってない時もあります。まあポテトフライなので普通においしいのですが、カリカリに揚がっているというよりは、にゅちよっとしています。アフリカの環境に慣れるまではこういったローカルの物を口にすると体調を崩される方が多いので初めに食べる時は注意が必要だと思います。隊員の中にはこの様な油物を食べて体調を崩す人も少なくはありません。生活に慣れてくると全く問題ない体になっていくと思います。



上段2つはローカルチップス
下段のお皿はレストラン